

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱書交付（町長より各委員へ交付）</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 事務局自己紹介</p> <p>5. 正・副会長選出</p> <p>6. 町長あいさつ</p> <p>7. 報告 第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】及び第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況について 資料 第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】及び第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実施報告書（令和4年度実績）に基づいて事務局より説明</p>
副会長	<p>◎質疑応答 「基本施策（3）きれいな水辺を取り戻そう」の中のSSの水質検査結果の目標値 6mg/L については過去の実績数値をみても現実的な目標値ではないと思われる。サンプリングをいつしたか、どこでしたかで数値に変動が出てしまうため、正確な数値を出すのは難しい。この理由から、環境基本計画を見直した方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>令和6年度に環境基本計画を新たに改訂する予定である。その際に数値を精査し新たな計画を策定する予定である。</p>
委員	<p>綾瀬川の水質関連について、今年の今頃、工業団地から伊奈学園の方面に浚渫したはずである。その効果はまだ出ていないのか。</p>
事務局	<p>浚渫を実施したのが令和4年度であるため、その結果が数値として反映されるのは令和5年度の報告分になる。</p>
委員	<p>綾瀬川に流入している流域はどうなっているのか。また、それらが水質汚濁等の原因になる事もあるのではないか。何か町での取り組みはないのか。</p>
事務局	<p>環境対策課では、合併浄化槽の推進を図り、補助金を出している。汲み</p>

	<p>取り便槽を使用していると、汚水がそのまま河川に放流されてしまうので、合併浄化槽を推進し、河川に汚水が流れないように努めている。また、上下水道課にも環境対策課の取り組みを情報共有している。</p>
副会長	<p>「基本施策（８）資源を大切にしよう」の中の「再生可能エネルギー利用の促進」について、住宅用省エネルギー設備設置費の奨励金の金額の増加、内容の充実、補助金制度の啓発活動をしていただきたい。</p>
事務局	<p>令和２年度当初は、HEMS、エネファーム、蓄電池の３項目だった。しかしこれらは高額なため、比較的安価であるグリーンカーテンや高断熱窓を導入した。奨励金のメニューを検討する際には国の補助も参考にしている。メニューを増やす事も大事だが、住民の意識改革を狙っていく事が大事だと考えている。近隣自治体の状況も踏まえて検討していきたい。</p>
副会長	<p>住宅用省エネルギー設備設置費の奨励金の存在を知らない住民もいると思う。広報等に掲載しているとは思いますが、もう少し頻度を高くしてくれると嬉しい。</p>
事務局	<p>了承。</p>
委員	<p>「基本施策（６）きれいで衛生的なまちにしよう」の中の「あき地の除草依頼件数」について、あき地もそうだが、昨今は空き家も問題になりつつある。国も課税をして減らす取り組みをしているが、町でも調査して対策をしていただければと思う。</p>
事務局	<p>空き家の所管は都市計画課だが、空き家からの雑草で環境対策課にも通報が入るため、協力し、所有者に対する啓発をしている。また、都市計画課では空き家に関してアンケート調査をしている。今後も都市計画課と協力し、啓発していく。</p>
副会長	<p>環境対策課で啓発しても改善されない場合はないのか。勧告書や命令書を出せば、対策が進むのではないのか。先行例は。</p>
事務局	<p>他の自治体との情報共有もしているが空き家、あき地は地権者の状況も含めて難しい事案である。勧告書や命令書に関しては、今年度から活用している。勧告書や命令書の効果や見極めも含め、環境対策課で検討していく。</p>
副会長	<p>第２部 第４次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 「１ 伊奈町の公共施設における温室効果ガスの排出量」について、温室効果ガスの排出量が令和３年だけ少ないのは何故なのか。</p>
事務局	<p>燃えるゴミに含まれる容器包装プラスチックの含有量によって変わってくる。すべてのゴミを調べているわけではなく、クリーンセンターの可燃ごみ処理施設のクレーンを使用して組成調査を実施しており、その中で可燃ごみに含まれる廃プラスチックの量によってビニール合成樹脂の焼</p>

	<p>却量が決まってくる。また、ビニール合成樹脂に関しては、環境係数が他の係数よりも高めに設定されており、通常の焼却量とビニール合成樹脂の部分で環境係数の数値が異なる。そのため令和4年度に関して、3,625 t-CO₂となるのは、可燃ごみに含まれる廃プラスチックが多かったことが起因しているのではないかと考えている。</p> <p>その他の使用量に関して、燃料費等が含まれる。令和3年度と令和4年度は16時間運転をしているため、再起動をする事で燃料を消費する事で燃料費の使用量が高くなっている。今年度からは24時間運転となるため、来年度は報告する数値が変わる可能性がある。</p>
副会長	<p>昨今、PFAS（人工的に作られた有機フッ素化合物）が問題になっているが、町では特に報告はないか。</p>
事務局	<p>現時点で報告はない。</p>
事務局	<p>8. その他</p> <p>①「プラスチック製品回収」の実証事業へのご協力のお願について 埼玉県と伊奈町では不要になったプラスチック製品を回収し、資源として有効活用するための仕組みを作ろうとしている。そのためプラスチック製品の回収を実施する予定。これは、建設予定の広域ごみ処理施設の分別への実証事業も含めている。期間は、11月1日から12月22日まで。45ℓのポリ袋に入る大きさで、硬いプラスチック製品（ハンガーや洗濯かご等）を町の方で回収しようと考えている。回収ボックスは、町役場、ゆめくる、県民活動総合センターに設置予定。回収したものは県に渡し、どれくらい集まったのか、PPやPE等の分析もした上でどのような資源化が出来るのかを分析し公表予定。「プラスチック製品回収」の実証事業へのご協力のお願いの用紙は、10月末の区長回覧で配布予定。</p> <p>②伊奈町ごみ分別アプリさんあ〜るについて 10月1日からごみ分別アプリの運営を開始した。SNSやHPに掲載したが、今後は区長回覧や保育所に入所されている住民や転入してきた住民に向けても啓発していく予定。</p> <p>9. 閉会</p>